

## 平成 28 年度小学生のスポーツ活動に関する調査結果について

### 1. 調査概要

#### (1) 調査目的

本県における小学生のスポーツ活動の実態を定期的（5年ごと）に調査し、体育・スポーツ行政の基礎資料を得るため。（過去調査年度：平成 23 年度、平成 18 年度、平成 13 年度、平成 8 年度）

#### (2) 調査対象

栃木県内公立小学校 4・5・6 年生全児童、学校数 372 校、児童数 52,467 人

※ 学校数、児童数については、平成 28 年度学校基本調査（平成 28 年 5 月 1 日現在）

#### (3) 調査方法

児童に対するアンケート調査並びに学校に対する質問紙調査

※ 今年度より各小学校に対し学校施設におけるスポーツ活動調査を実施

#### (4) 調査期日

平成 28 年 7 月 1 日現在

### 2. 小学生のスポーツ活動調査 結果概要

#### (1) 回答児童数（回収率：96.4%）

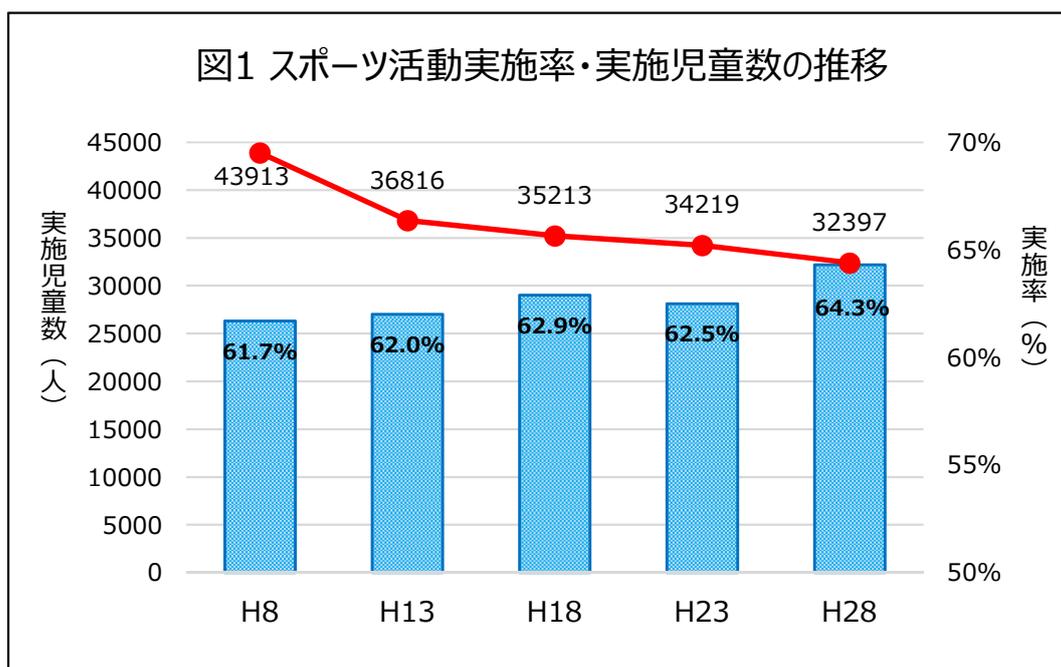
	4 年生	5 年生	6 年生	計
男子	8,583	8,600	8,763	25,946
女子	8,129	8,212	8,224	24,565
性別無記入	8	31	2	41
計	16,720	16,843	16,989	50,552

#### (2) 授業（体育やクラブ活動など）以外でのスポーツ活動実施率（図 1）

授業（体育やクラブ活動など）以外でスポーツ活動を実施している児童の割合は 64.3%である。男女別では、男子が 73.9%と多い割合を示し、女子においては 54.1%とほぼ半数である。

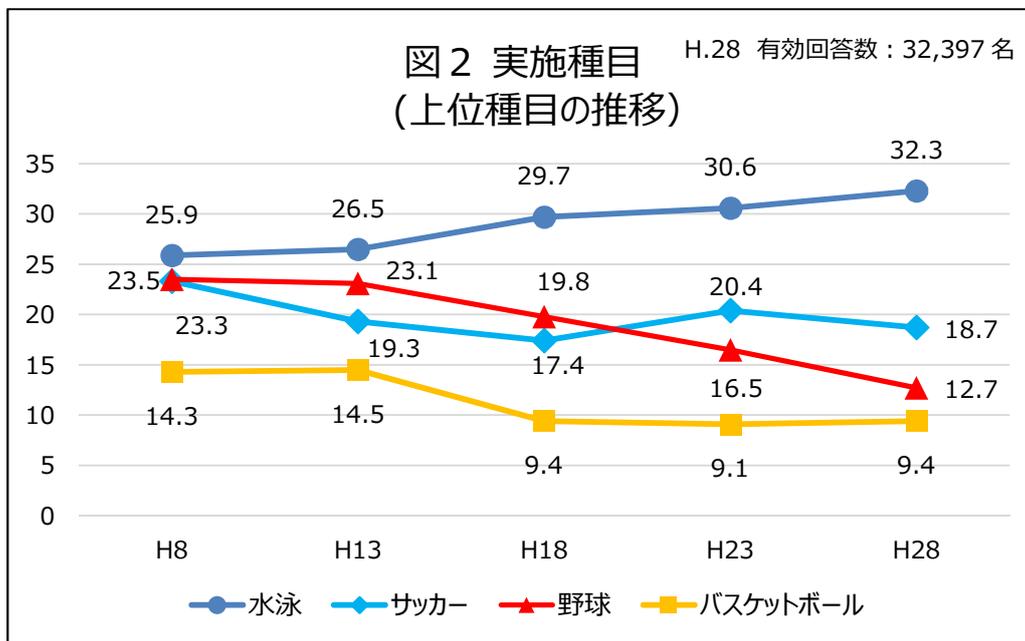
実施児童数は減少しているが、実施率は過去の調査と比べ増えている。

H28 有効回答数：50,552 名



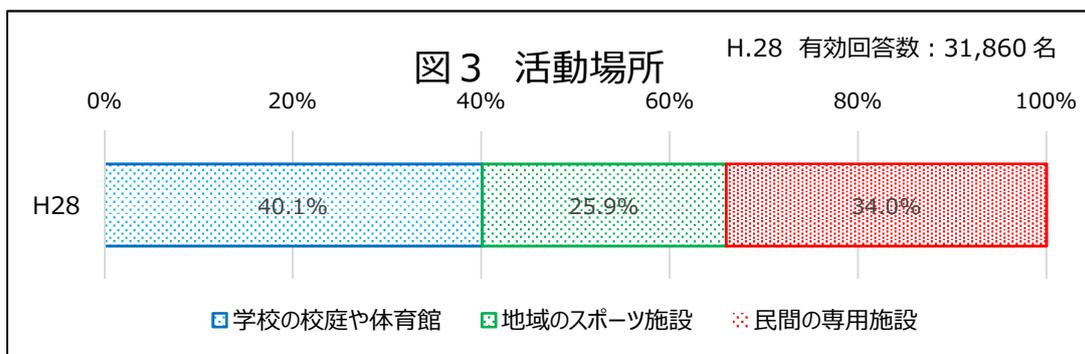
(3) 実施種目（複数回答）（図2）

実施種目の上位種目は「水泳」「サッカー」「野球」「バスケットボール」の順であった。これらの種目は過去の調査においても、上位の人気種目である。前回(H23年度調査)に引き続き、「サッカー」が「野球」の割合を上回った。



(4) 活動場所（図3）

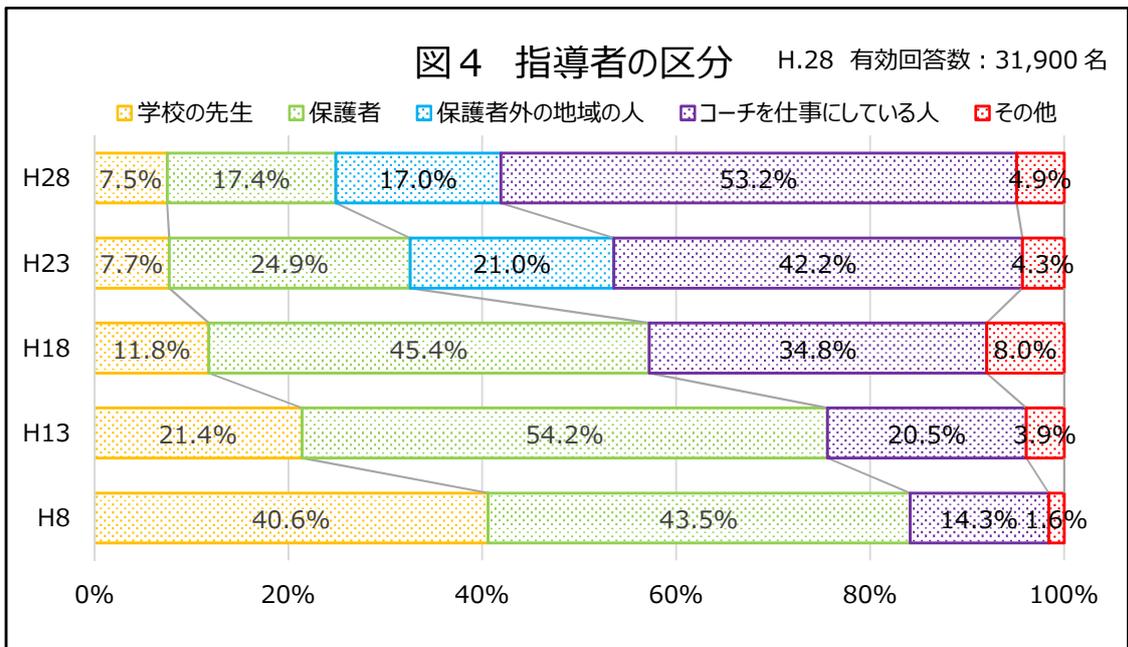
活動場所は、「学校の校庭や体育館（40.1%）」が最も多く、次いで「民間の専用施設（34.0%）」であった。



(5) 指導者の状況（図4）

「コーチを仕事とする専門家」と回答した児童が最も多く、前回調査と比べて11ポイント増加している。「保護者」は前回と比較して7.5ポイント、「保護者以外の地域の人」は4.0ポイントそれぞれ減少した。「学校の先生」との回答は最も少なく、前回調査から0.2ポイント減少した。

※H18までの調査では「保護者」に「地域の人」を含めていたが、H23調査より「保護者」と「保護者外の地域の人」を区別して調査している。



### 3. 学校施設におけるスポーツ活動調査 結果概要

(1) 回答数 371校 (回収率：99.7%)

(2) 学校施設を使ったスポーツ活動の有無 (図5)

学校施設におけるスポーツ活動の有無について、スポーツ活動を実施していると回答した学校は351校(94.6%)であった。活動の内訳としては、スポーツ少年団等の地域スポーツ活動が57.4%、部活動と地域のスポーツ活動の両方を実施しているが31.8%、部活動のみの実施が5.4%であった。

(3) 小学校における部活動の有無について (図6)

小学校の部活動について、36.9%の小学校が部活動を実施しているとの回答であった。実施種目は「陸上」「水泳」「野球」などで、主に教員が指導にあっている。

地域ごとに特色的な活動があり、2～3ヶ月ごとに特定の種目を実施する特設的な活動も部活動という捉え方で集計した。

